

セルフモニタリング報告書(令和4年度分)

令和5年 4月 30日

施設名 苦小牧市民活動センター

指定管理者名 苦小牧市社会福祉協議会

所管課名 総合福祉課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適切な管理運営を行った。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナの影響はありましたが、利用人数も増加し、利用者への利便性の向上に努めた。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	花壇づくりやアンプレिकासカイを実施しました。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係機関・団体と連携して、人数制限などの工夫をしながら講座等を開催。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者のアンケートの回答では一定の満足を得られた。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	御意見箱・窓口での要望の把握に努めた。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からの要望として、貸館の部屋名や1階の案内板の訂正など、経常費で対応可能なものは早急に改善	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E

	した。	
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	市況価格を把握し、購入に努めた。	A・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	競争入札により委託費を最小限に抑えるよう努めた。	A・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	各種団体の市民活動に影響のない範囲内で空き状況を公開し、空き室の稼働率向上を行った。	A・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	利用者の利便性を優先し配置した。	A・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	能力向上に向けた研修などに参加させた。	A・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	条例により公平な利用の確保に努めた。	A・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報に係る書面は、施錠して管理をし、かかわりのある課の机にも必ず施錠して帰宅させた。	A・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	四半期ごとの監事監査及び税理士の指導により法人会計を適切に管理した。	A・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	指定管理の保守点検業務仕様書のとおり、適切に努めた。	A・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	使用に支障がある備品は都度交換した。	A・B・C・D・E

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	故障及び破損により危険性のあるものは、その都度修理・交換を行った。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定事項を遵守するとともに、法令の適正管理に向けて公益通報者保護制度を遵守した。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元を優先し調達等を行った。	<input type="checkbox"/> A・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和4年度は、社協の自主事業として、昨年同様、アンブレラスカイプロジェクトを行い、コロナ禍の中、色とりどりの傘をホワイト天井に敷き詰め、色鮮やかな景色を来館者を楽しんでもらえる展示を実施いたしました。また、(株)百花園の指導のもと、苫小牧風花の会の会員の皆さまに協力いただき、西側駐車場に花壇作りを行いました。

花苗 100 株を植え、参加者からも「楽しかった」「来年も参加したい」などの感想をいただきました。市民活動センターの景観も色鮮やかな花が咲き、来館者にも喜んでいただけるように実施いたしました。

男女平等参画推進センターにおいては、「ほっと一息ステーション」などの毎月実施する新たな形態のセミナーや政治や選挙を学ぶ「おとなの公民講座」、女性特有の悩みと片付けられていた「更年期障害」などのこれまでもあった課題を社会的な課題とするためのセミナーなど時代のニーズに対応した講座等を実施しました。

また、従来から実施している講座等の主催者挨拶においても、男女平等参画の意識の向上につなげるための説明や講座等の案内を積極的に行い、男女平等参画の推進に努めました。

さらに、登録サークルで構成するサークル協議会に提案して、サークル活動の活発化を目的としたアンケート調査を実施し、次年度事業につなげるための働きかけをしました。

利用者は新型コロナウイルスの影響はありましたが、前年度より改善し令和3年度の実績 60,202 人を上回り 91,289 人（前年比 151.6%）で、収入面では対前年比 1,080,225 円増の 132.18%となりました。

新型コロナウイルスの感染対策が、生活の一部として慣れてきたこともあり、一定程度の実績は残せたと考えております。

センターの設置目的は社会福祉活動、男女平等推進活動に関連する市民活動の推進であることから、増収対策には限度はありますが、今後も市民活動を優先に、施設が有効活用されるように努めてまいります。

サービス面では館内及び貸出品の老朽化による改善と修繕を自主的に実施し、照明器具の安定器故障に関しては随時 LED に交換を行ってまいりました。男女平等参画に関連する図書を約 60 冊購入すると共に、NWEC からの貸本を継続するなど、施設の目的に合った図書コーナーの充実に努めました。

また、利用者の声を反映し、第2駐車場の設置や部屋の名札、1階ロビーの案内表示など利用者が見やすくなるように修繕し、駐車場の区画線設置工事や3階会議室の柱修繕を行い、センター来館者の利便性拡大を目的とした修繕を実施いたしました。

市に働きかけていた給水ポンプユニットの入れ替え修繕を行い、施設の安定的運用を確保いたしました。

恒常的に使用する消耗品については、大型日用品店やインターネットで購入するなど、経費削減を実施しております。

今後も対応が可能な範囲内で最大限の環境整備に努めたいと考えております。